

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和7年(2025年)4月25日
横断的な課題	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり					南信州地域振興局
地域重点政策	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり					
実施機関	南信州地域振興局					
事業名	環境産業見本市事業	担当課	所属	環境課		
			電話	0265-53-0434		
			E-mail	minamichi-kankyo@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要	目的 (目指す姿)	ゼロカーボン社会の実現に向けて不可欠なのが、再エネの活用、省エネや資源の有効利用に関わる企業のイノベーション(技術革新)である。 ESG(環境・社会・企業統治)に積極的な企業が世界的に評価されるようになり、環境や社会に配慮した商品やサービスへの関心が高まりつつある中、ウクライナや中東情勢を背景に化石燃料の高騰が続き、エネルギー問題は経営に直結する課題となっており、県内企業の脱炭素化は大きく動き出す必要性がある。 そこで、管内地域企業が持つ環境や社会に配慮した商品を広く紹介し、販路拡大に結び付け、併せて脱炭素化を推進する見本市を開催することで地域内経済循環の実現を図る。				
	現状と課題	長野県ゼロカーボン戦略に掲げた2030年度の温室効果ガス排出削減目標(2010年度比6割減)に対し、現状ベースの進捗では目標達成が困難な状況であることから、県では十分な効果が見込まれる施策や、加速化が必要な部門を明らかにし、施策効果の高い重点施策を新たに掲げるなど、目標達成のためのロードマップを令和5年11月に策定。県民・事業者にも広く周知し展開を図る必要がある。 ○温室効果ガス排出量削減目標<2030年度ロードマップシナリオ> 産業・業務部門 ▲ 284万t-CO2 また、南信州地域振興局管内においては、温室効果ガス総排出量は年々減少するとともに再生可能エネルギー導入容量が増加しているが、2050ゼロカーボンに向けては、今後も更なる取組みが必要な状況にある。				
	内容 (変更後の内容)	過去、飯伊地域においては本事業的要素のイベントがなかったことから、果たしてどの程度の需要、反応があるかを見極めるため、モデル的に、土日開催のイベント(南信州環境メッセ)に併せて、管内地域企業が持つ環境や社会に配慮した商品の展示会及び商談会を開催し、産業分野のゼロカーボン推進を図る。 ○日 時: 令和6年11月22日(金)10:00~15:00 (南信州環境メッセ:11月23日(土)~24日(日)) ○会 場: エス・バード(飯田市) (南信州環境メッセ: エス・バード) ○内 容: (1) 企業展示ブース…製造業を中心とする企業による各種ブース展示 ア 温室効果ガス削減に向けた製品・商品づくりに係る展示 イ 省エネ、再エネ技術の革新による新たな環境産業の創出に係る展示 ウ 温室効果ガス削減に向けた事業所内の取組み(エコアクション)に係る展示 (2) ビジネス商談会…上記の出展者及び来場者によるビジネス商談会 (3) 出展企業紹介用パンフレットの作成 ・出展企業(25団体)に係るブースのみどころや会社概要などを各団体1ページにまとめた冊子を作成する。 ・これを出展関係者及び来場者へ配布することにより、出展者間・出展者と来場者のコミュニケーションを活性化し、出展技術・商品などの販路拡大及び地域内経済循環の促進を図る。				
事業期間	令和6年5月 ~ 令和7年1月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	会場ブース設営一式	屋内ホール				
	スタッフ費用	受付、会場内各2名	935,000			
	企画調整・運営一式	企画、調整、運営				
	出展企業紹介用パンフレットの印刷	28頁 500部 A-4 マットコート70K	99,000			
合 計			1,034,000			

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	出展企業数	27社	25社	一部達成
	出展者に対するイベントの満足度(概ね満足している以上の割合)	7割	68%	
	来場者に対するイベントの満足度(概ね満足している以上の割合)	7割	82%	
事業実績・成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場の規模にふさわしい出展者数の確保を目標に、当地域の企業を中心として、イベント開催の趣旨を丁寧に説明しつつ出展の募集を行い、目標値には到達しなかったものの、初開催において、一定の出展者数を確保した。 ・出展者からは、業界での交流・情報交換等の部分で出展のメリットを感じていただき、また、来場者からは環境に関する新しい技術やビジネスを知る機会を得られた等の感想をいただいた。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展者の68%、来場者の76%が、今後の同様のイベントへの参加に意欲を示しており、継続開催による産業分野におけるゼロカーボンの推進への足掛かりができた。 ・一定の商談件数(88件)があり、当地域企業を中心とした環境や社会に配慮した技術や商品の販路拡大に寄与できたものと思料される。 			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の初開催の結果を踏まえ、引き続き、当地域における当該イベントへの反応、需要を見極めつつ、産業分野のゼロカーボンの推進を図る。 			